

高校生ら 出番だ!

雪かきに取り組む生徒たち＝金沢市此花町で

金沢市 除雪協カデー



金沢市が七年ぶりに「除雪協カデー」を実施した十一日、市と雪かきボランティア協定を結ぶ高校生や大学生の六団体も、住民とともに除雪に汗を流した。(小坂亮太)

ボランティア協定 6団体も汗

金沢駅近くの此花地区では、第一学院高校金沢キャンパス(堀川新町)の二、二年生有志四人が参加。小学生の通学路や細い路地を中心に、固まってでこぼこになった圧雪をスコップで碎き、道を整えた。

一年の坂本紡さん(むは)は「雪が硬く大変だった。人ごとじゃなく、みんなで協力することが大事。お年寄りが歩きやすくなってほしい」と笑顔で話した。

本年度は学生や社会人の十八団体が協定を結び、十一日までに計二十四回、延べ三百九十人が雪かきに協力した。二〇〇六年度の協定開始以来最多となっており、市の担当者は「ありがたいこと。活動を機に住民との仲も深まってほしい」と話している。